

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会

目標1 福祉サービスを利用しやすい仕組みづくり

1. 情報提供の充実

(1) 福祉サービス情報をわかりやすく伝える

NO	実施事業名	実施月	摘要
1	社協だよりの発行	年3回 (6月、10月、2月 発行)	制作会社を変更し、より分かりやすいデザインに大幅にリニューアルしました。また、ホームページと連動したデザインに変更しました。社協だよりは共同募金配分金で作成しており、共同募金事業の活動報告及び募金の理解促進の目的により、社協だよりをR4年度から共同募金寄付者(企業のみ、個人は全戸の為)に送付しました。
2	ホームページの活用・更新	通年	文字の背景色や大きさを選択できたり、欲しい情報にたどりつきやすい配置しています。また、子ども向け社協って何?のコーナーを作り、福祉や社協を分かりやすく掲載しています。
3	子育て情報誌「かすやキッズネット」の発行	年12回 (毎月20日発行)	公共施設等、商業施設、集いの広場、幼稚園、保育園等に月1,980部配付、子育てに関する情報提供を行いました。 ※町内親子サロン中止のため、部数減少
4	地域座談会の充実	通年	未実施
5	ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業	年9回 (6, 10, 2月を除く)	ひとり暮らし高齢者(対象条件あり)に対して、心ばかりの贈り物に「かすや社協通信たよりあい」と返信ハガキを添えて対象者に郵送、または民生委員等を通じて配付しています。おたよりは、食進会・婦人会と協力して作成しました。対象者の方から感謝や楽しみにしているとの声を多数届き、西日本新聞朝刊に「手紙と声かけ つながる幸せ」というタイトルで、対象者の方の感想が掲載されました。配付総数:1,000個
6	ひとり暮らし高齢者等電話訪問活動	通年 (平日の月～金曜日、午前、午後に分けて実施)	ボランティア連絡協議会登録団体「しおんの会」にご協力をいただき、福祉センターで電話訪問を行いました。コロナ禍において、利用者(70歳以上のひとり暮らし高齢者)様からは、「外出自粛の中で、誰も喋らない日が続いているのでありがたいです」等、電話訪問日を楽しみにしている方が多くいました。不在時には職員が対応しました。利用者数:16名

NO	実施事業名	実施月	摘 要
7	福祉総合相談の実施、連携	通年	行政担当課や暮らしの困りごと相談所等と連携をして、相談者に対して必要なサービスに関する情報の提供を行いました。社会福祉協議会では解決できない問題については、他の相談機関の情報提供を行い、迅速に解決できるように努めました。
8	生活福祉資金貸付事業(県受託) ※令和2年3月23日から令和5年9月30日 新型コロナウイルス感染に関する特例貸付実施(10回延長)	通年	新型コロナウイルス感染症に伴う、特例貸付が令和4年9月30日で終了しました。若い方の問い合わせ(失業等で生活困窮)が多いので、ホームページ上で分かりやすく内容等掲載をして情報の提供を行いました。 延べ相談件数:919件、貸付申請件数:161件(実績表①)
9	日常生活自立支援事業(県受託)	通年	相談・情報提供依頼があった場合には、訪問をして説明を行いました。契約者には月1～2回支援計画に沿って支援を実施しました。 利用者数:2名、延べ訪問回数:30件(実績表②)

(2)情報の交換や共有をすすめる

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	行政機関との連携強化	通年	行政担当課、ケースワーカー、スクールソーシャルワーカー等に対し日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、かすサポ等を中心に情報を共有しました。
2	民生委員・児童委員・福祉委員との連携強化	通年	定例民生委員・児童委員会等に参加し、情報交換や意見交換を行い、地域における福祉課題等を把握し、情報を共有しました。
3	小地域福祉活動等の情報提供	通年	事業の開催報告などを随時ホームページ及びFacebookに更新し、ひとり暮らし高齢者見守り推進事業「たよりあいプロジェクト」は、バックナンバー等をまとめたページを新たに作成しました。情報をひとつに集約することで閲覧者の導線を短くしました。
4	ふくおかライフレスキュー事業への参加	通年	地域で課題を抱えている方の相談をお受けし、相談者宅に伺い情報の提供を行いました。訪問、活動結果等については、相談者にご了承いただき、関係機関で情報を共有しました。食料支援に関しましては、セブンイレブン、有志からの寄贈等で対応しました。 定例会:4回(web会議)、支援件数:11件(食糧支援等)(実績表③)

2. 相談支援の充実

(1) 相談機能を強化する

NO	実施事業名	実施月	摘要
1	心配ごと相談所の開設(町補助)	年20回 (毎月第1・3火曜日、 午前中)	日常生活の悩みや心配ごとに対し、無料の弁護士相談を行いました。相談員は、民生委員・児童委員4名(1回2名)、特別相談員に顧問弁護士2名(1回1名)で開設しました。相談件数:25件(実績表④)
2	福祉総合相談の実施、連携(再掲)	通年	相談者は行政担当課又は暮らしの困りごと相談所等を通じて、社会福祉協議会へつなげられたケースが多く、その大半が生活福祉資金貸付事業の相談でした。社会福祉協議会では解決できない問題については、他の相談機関の情報提供し、連携して、迅速に解決できるように努めました。
3	ひとり暮らし高齢者等見守り・相談活動の推進	通年	粕屋町生活サポート事業や電話訪問活動、ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業で対応しました。

(2) 身近で気軽な相談支援をすすめる

NO	実施事業名	実施月	摘要
1	福祉委員研修会の開催	1月28日(土)	令和5年3月末の任期満了に関わる事務説明会(引継ぎ関係)と、職員による体制整備事業と生活支援コーディネーターの理解を深めるための研修会を開催しました。
2	福祉研修会の開催	6月18日(土)	「アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)を知って、自分の活動に活かしていこう!」というテーマで、佐藤倫子先生をお招きし、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。講演会の様子はyoutubeで配信し、視聴期限を6月30日まで設けました。会場:サンレイク粕屋 参加者:対面51名、オンライン20名

目標2 安心して安全な暮らしを支える基盤づくり

1. 福祉・生活環境の充実

(1) 福祉サービスの量や質の充実を図る

NO	実施事業名	実施月	摘要
1	指定居宅介護支援事業	通年	介護保険に基づく居宅介護支援事業を実施しました。(介護支援専門員2名で対応)(実績表⑤)
2	障がい児相談支援事業	通年	児童福祉法に基づく相談支援事業を実施しました。(相談員1名で対応)(21名利用)
3	障がい児放課後等対策事業(町受託)	通年 (休み:土、日、祝 日、8/13~15、12/28 ~1/3)	障がいのある子どもの学童保育およびその家族の一時的な休息を目的に、実施しました。延べ利用者数:890名(実績表⑥)
4	生活支援体制整備事業(町受託)	通年	第1層協議体を設立するため、社会資源の調査や、社会資源カードの作成、ゆうゆうサロン等を訪問し、各団体へのヒアリングを行いました。また、すでに協議体を設立している近隣社協へヒアリング、協議体の見学を行いました。
5	生活福祉資金貸付事業(県受託) ※令和2年3月23日から令和5年9月30日 新型コロナウイルス感染に関する特例貸付実施(10回延長)(再掲)	通年	新型コロナウイルス感染症に伴う、特例貸付が令和4年9月30日で終了しました。若い方の問い合わせ(失業等で生活困窮)が多いので、ホームページ上で分かりやすく内容等掲載をして情報の提供を行いました。延べ相談件数:919件、貸付申請件数:161件(実績表①)
6	日常生活自立支援事業(県受託)(再掲)	通年	相談・情報提供依頼があった場合には、訪問をして説明を行いました。契約者には月1~2回支援計画に沿って支援を実施しました。利用者数:2名、延べ訪問回数:30件(実績表②)
7	苦情相談窓口の設置	通年	苦情解決に向けた相談窓口を設置し、苦情相談受付担当者と解決責任者を配置しています。苦情0件、ホームページで公表しました。(実績表⑦)

NO	実施事業名	実施月	摘 要
8	第三者委員の設置	通年	苦情相談に対し、第三者委員を設置し、第三者の公平な立場での苦情解決と調整を行い、委員2名には携帯電話をお渡しして随時相談が受けれる体制を整えています。苦情0件
9	実習生の受け入れ	通年	筑紫女学園大学より4名、西南学院大学より2名、日本総合研究所より1名受け入れを行いました。 また、筑紫女学園大学より依頼があり、人間科学部人間福祉学科の2年生の学生向け「ソーシャルワーク実習とは何か」、「ボランティア募集」の説明を行いました。放課後等デイサービスあいあいにて学生ボランティアの受け入れを行いました。

(2)生活環境を整備する

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	ふれあいバス(町内巡回バス)の運行管理(町受託)	通年 (運休:12/29~1/3) ※平成31年4月より、 12/29から1/3を除き 運行開始)	2台のバスで町内停留所を巡回しました。毎日の朝礼で運転手の体調管理(検温等)、アルコール検知等を行い安全運転に努め、毎月運転手との定例会議を持ち町民が利用しやすい環境づくりに努めました。車輛は運行前には定期点検を行い、より安全面を考慮し、ドライブレコーダーを設置しています。 また、シャトルバスは令和4年6月1日から、役場への乗入れ、2便増(9便)へ変更しました。延べ利用者数:40,800名、シャトル延べ利用者数:11,387名(実績表⑧)
2	外出支援の充実(車椅子の無料貸出)	通年	高齢者等の外出支援の充実を図るため、旅行や施設からの一時帰宅者に対して無料で車椅子の貸出しを行いました。 延べ利用者数:40名(実績表⑨)

2. いのちを守る支援の充実

(1) 権利を守るための支援をすすめる

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	心配ごと相談所の開設(町補助)(再掲)	年20回 (毎月第1・3火曜日、 午前中)	日常生活の悩みや心配ごとに対し、無料の弁護士相談を行いました。相談員は、民生委員・児童委員4名(1回2名)、特別相談員に顧問弁護士2名(1回1名)で開設しました。相談件数:25件(実績表④)
2	日常生活自立支援事業(県受託)(再掲)	通年	相談・情報提供依頼があった場合には、訪問をして説明を行いました。契約者には月1~2回支援計画に沿って支援を実施しました。利用者数:2名、延べ訪問回数:30件(実績表②)

(2) 虐待防止のための支援を強化する

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	虐待問題に関する啓発	通年	毎月発行の子育て情報誌の中で虐待の窓口を掲載を行い啓発に努めました。

(3) 災害時の避難に備える

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	小地域見守りネットワークの充実と支え合う体制づくりの推進	—	未実施
2	災害ボランティアセンターの設置訓練	3月21日(火)	糟屋地区社協合同で災害ボランティアセンターの設置訓練を実施しました。今年度の訓練は、志免町社会福祉協議会が当番町で実施しました。 会場:志免町総合福祉施設シーメイト 1階シーメイトホール 講師:一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏 参加者:39名(各社協5名程度、県社協2名含む)

目標3 みんなが気軽に参加できる環境づくり

1. 身近な地域で支え合いの充実

(1) 福祉について学ぶ機会の充実を図る

NO	実施事業名	実施月	摘要
1	発達障がい研修会の開催	2月25日(土)	「社会人になる前にできること」と題し開催しました。前年度が新型コロナウイルス感染が拡大したため中止となったので、今回は、対面型、オンライン型のハイブリット形式で開催しました。研修終了後、10日程度、動画視聴な環境を整え、配信しました。(視聴回数54回再生) 講師:NPO法人ゆあしっふ代表 桑原由美子 氏 会場:サンレイク粕屋 参加者:対面参加者19名、託児6名、オンライン26名
2	福祉体験教室の開催	11月27日(日)	「子どもの権利を知ろう」と題し、育成会所属のジュニアリーダーと共催で開催しました。育成会所属のジュニアリーダー(小学6年生・中学生)。コロナにより、小学5年生の参加は見送られました。 体験学習では少人数グループになり、体を動かしたり、絵を書いたりしながら子どもの権利を学びました。講師:佐藤 倫子氏 会場:粕屋西小学校体育館 参加者:28名
3	子育て支援事業(出前講座特別編)	中止	新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。
4	総合学習の支援	年間3校 8回実施	大川小学校(6年生)6月30日(木)、粕屋西小学校(4年生)7月4日(月)、6日(水)、9月30日(金)、仲原小学校(3年生)10月11日(火)、1月13日(金)、1月17日(火)、19日(木)の日程で疑似体験学習等の実施しました。
5	福祉協力校活動の支援	8月	町内小学校4校、中学校2校、高校1校に対して、福祉教育の支援として補助金をお渡しました。
6	疑似体験用具の貸出	通年	小学校の総合学習で貸出を行いました。

(2)隣近所や地域でのつながりを促進する

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	軽運動・趣味の教室の開催	通年	仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりを目的に教室、サークルを開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で、ヨガサークル・囲碁サークルを開催しました。 延べ参加者数:1,519名(実績表⑩)
2	シルバー囲碁大会の開催	中止	新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。
3	シニアクラブ連合会演芸大会の開催	10月20日(木)	シニアクラブ連合会演芸大会を開催するための補助を行いました。
4	身体障がい者生き甲斐対策支援通所事業	年12回 実施 (毎月第4木曜日、10時から12時)	ボランティア連絡協議会登録団体「七色の会」にご協力をいただき、サンレイク粕屋で、交流と介護予防を目的に障がい者サロン活動を開催しました。内容は、午前中は、青洲会病院地域連携室の方が講師として介護予防運動教室、午後からは創作活動を行っていましたが、午後の部を中止して開催しました。 参加者数:43名(実績表⑪)
5	障がい者スポーツ協会の支援・郡身障者グラウンドゴルフ大会の支援	中止	障がい者団体の大会参加の支援を行いました
6	子育て応援サロンの開催(療育児・親子サロン)	年12回 (毎月1回土曜日、10時から12時)	作業療法士と臨床心理士による発達障がいのある子ども(未就学児から小学校1年生まで)の療育や大学生ボランティアの協力を得ながら、親同士の交流を目的に開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、学生ボランティアを休止し、少人数制の座談会を実施しました。子どもたちに対して自宅でできる工作キットの送付を実施しました。 延べ参加者数:69名(実績表⑫)
7	子育て支援事業(出前講座)		新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。
8	子育て支援事業	通年	各地区の子育てサロンにより多くの親子が参加して、お互い顔の見える関係ができるように3B体操の講師、親子あそびの講師(保育士)を招き、年2回訪問し、1回1時間程度出前講座を開催する計画としましたが、新型コロナウイルス感染症のため町内親子サロン休止に伴い、訪問中止となりました。(実績表⑬)

NO	実施事業名	実施月	摘要
9	小地域見守りネットワークの充実と支え合う体制づくりの推進(再掲)	—	未実施
10	福祉センターの管理運営(町受託) ※R3.4.1から新型コロナウイルス集団接種会場として使用 ※R3.4.12から部屋を変更してヘルストロン使用開始	通年 (閉館日:日曜日、 5/3~5/5、12/29~ 1/3)	全館、新型コロナウイルス集団接種会場使用のため、福祉センターの部屋の貸出を中止しました。但し、ヘルストロン利用に関しては感染対策を行い(台数減、ロビーから別部屋に移動)ご利用が出来るようにしました。 ※但し、「まん延防止等重点措置」期間中はヘルストロンは中止しました。 部屋利用者数:0名(実績表⑭)

2. 地域での参加機会の充実

(1) 地域を支える担い手を育成する

NO	実施事業名	実施月	摘要
1	粕屋町サポーターポイント制度の実施(町受託)	通年	介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業を円滑にすすめるために取り組む粕屋町サポーターポイント制度事業において、利用者とボランティアの調整等の業務を担当しました。 延べ派遣回数:115件(実績表⑮)
2	ひとり暮らし高齢者等見守り・相談活動の推進(再掲)	通年	粕屋町生活サポート事業や電話訪問活動、ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業で対応しました。
3	幼稚園等の世代間交流の支援	12月	町内4幼稚園に対して、幼稚園発表会の補助金をお渡ししました。
4	地域青少年育成支援事業	8月	24行政区に対して、青少年育成事業費をお渡ししました。
5	小地域福祉活動の支援	通年	小地域活動を行う福祉委員に対して、地区での活動費の補助を行いました。10地区
6	小地域見守りネットワークの充実と支え合う体制づくりの推進(再掲)	—	未実施
7	福祉委員活動の支援	8月	福祉委員の活動支援のため活動費(年間12,000円)お渡ししました。また、活動報告書を全員に提出していただきました。福祉委員数:66名

NO	実施事業名	実施月	摘 要
8	各種福祉団体活動の支援	7月	各種団体(区長会・民生委員・児童委員協議会・ボランティア連絡協議会・シニアクラブ連合会・身体障がい者福祉協会・知的障がい児(者)親の会・食進会・子ども会育成会連絡協議会)の基盤強化のために、補助金をお渡ししました。
9	各福祉団体への活動の場の提供	通年	新型コロナウイルス集団接種会場使用のため、福祉センターの部屋の貸出を中止しました。
10	ふくおかライフレスキュー事業への参加(再掲)	通年	地域で課題を抱えている方の相談をお受けし、相談者宅に伺い情報の提供を行いました。訪問、活動結果等については、相談者にご了承いただき、関係機関で情報を共有しました。食料支援に関しましては、セブンイレブン、有志からの寄贈等で対応しました。 定例会:4回(web会議)、支援件数:11件(食糧支援等)(実績表③)
11	福祉課題の調査・研究	通年	生活支援体制整備事業や、重層的体制整備事業の近隣社協の進捗について、ヒアリングを行いました。

(2) ボランティア活動の活性化を図る

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	ボランティア情報の提供	通年	ボランティア連絡協議会の活動内容をホームページで開催しています。
2	ボランティア連絡協議会の支援	通年	ボランティア連絡協議会の基盤整備のため、補助を行いました。
3	ボランティア連絡協議会所属団体の支援	通年	ボランティア連絡協議会の所属団体(七色の会、友愛訪問の会、しおんの会、ガイアの響)の基盤整備のため、補助を行いました。
4	ボランティア団体レベルアップ研修の支援	通年	コロナにより中止
5	ボランティア保険への加入(加入手続き・事故対応)	通年	ボランティア連絡協議会等ボランティア保険の加入を行いました。

NO	実施事業名	実施月	摘 要
6	学生ボランティアの育成	通年	筑紫女学園大学より依頼があり、人間科学部人間福祉学科の2年生の学生に向け「ソーシャルワーク実習とは何か」、「ボランティア募集」の説明を行いました。放課後等デイサービスあいあいにて学生ボランティアの受け入れを行いました。
7	献血推進事業	3月	年1回、献血運動の推進に対し補助を行いました。

目標4 社会福祉協議会の基盤強化

1 法人の健全経営

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	公認会計士との顧問契約	通年	毎月、公認会計士の相談指導を受け適切に会計処理を実施しました。
2	社会保険労務士との顧問契約	通年	労務関係について、適切に処理できるように相談指導を受け適切に実施しました。

2 職員体制と職員育成の充実

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	職員育成研修の充実	通年	県社協が行う研修会をはじめ、糟屋地区社協職員向け研修会等に参加し資質の向上に努めました。※基本オンライン研修で受講。
2	適正人員の確保	—	現在職員は、法人運営事業(正規職員7名、嘱託1名(事務局長)、臨時1名)、福祉センター(臨時1名)、障がい児放課後等対策事業(臨時2名)、ふれあいバス(嘱託1名、臨時7名)、居宅介護支援事業所(嘱託2名)です。児童発達支援事業(正規職員21名、臨時職員7)

3 役員・評議員等の活動充実

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	法令順守の徹底	通年	社協運営理念をきちんと踏まえながら、法令はもとより、社協諸規程を適正に順守しました。
2	役員等活動の充実	通年	理事会、評議員会の開催(実績表⑩)

(4)財政基盤の強化

NO	実施事業名	実施月	摘 要
1	基金等の運用	—	未実施
2	自主財源の確保及び公益事業の実施	—	障がい児通所事業を3ヵ所経営しています。
3	収益事業の調査・研究	—	重症心身障がい児向けデイサービスの開所について検討しました。
4	赤い羽根共同募金活動の推進(県受託)	10月から12月まで	新型コロナウイルス感染症防止の関係で、従来実施しておりました町内法人・個人募金推進、町外企業募金推進は振込でのご依頼に変更し実施しました。街頭募金は中止し、それ以外が従来通り実施しました。
5	補助金の確保	—	粕屋町社会福祉協議会の経営基盤安定に資するため、町より補助金を出していただきました。